

# アスパラガス(1年苗)の上手な作り方



## 1 土作り

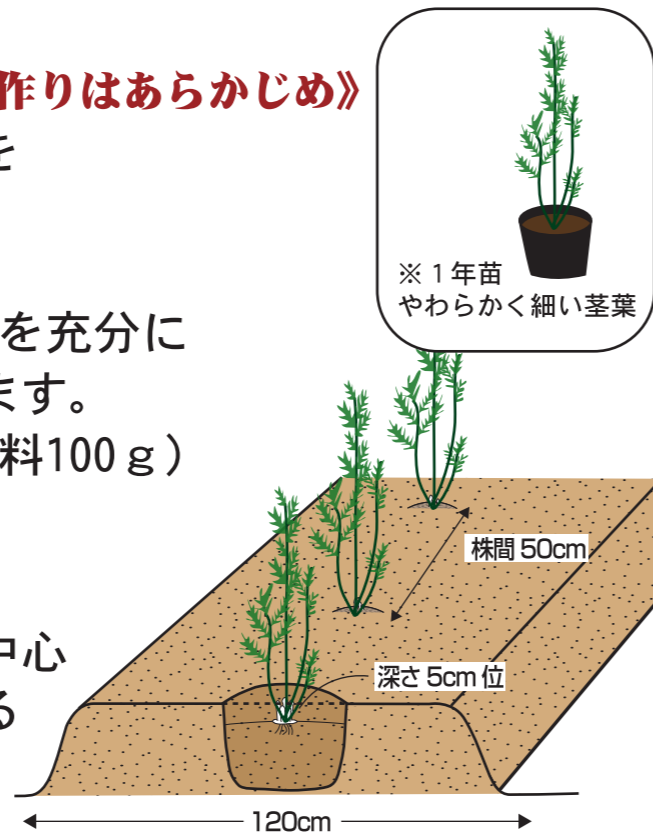
ポイント

《土作りはあらかじめ》

- ①定植の2週間前、苦土石灰をまいてよく耕します。  
(1㎡当たり150g)
- ②定植の1週間前、堆肥と肥料を十分に混ぜてよく耕し、畝を作ります。  
(堆肥1㎡に3リットル・肥料100g)

うね  
畝とは：水はけを良くするために土を盛り上げること。

- ③根をなるべく横に広げて、中心の芽の部分が少し地上に出るくらいに植えつけます。

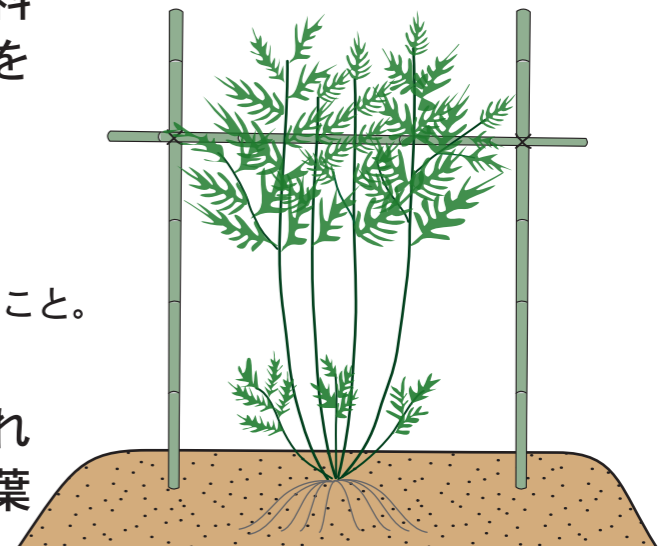


## 2 追肥

ポイント

《植えた翌年の収穫は見送る》

- ④植え付けた翌年は収穫せず、株の充実に努めます。  
アスパラガスは深根性で肥料を多く欲しがるので、追肥を季節ごとに施します。  
株の周りに肥料をばらまき、軽く中耕します。  
※中耕：苗を傷つけないように軽く耕すこと。
- ⑤茎が伸びてきたら、風で倒れやすいので支柱を立てて茎葉を支えます。

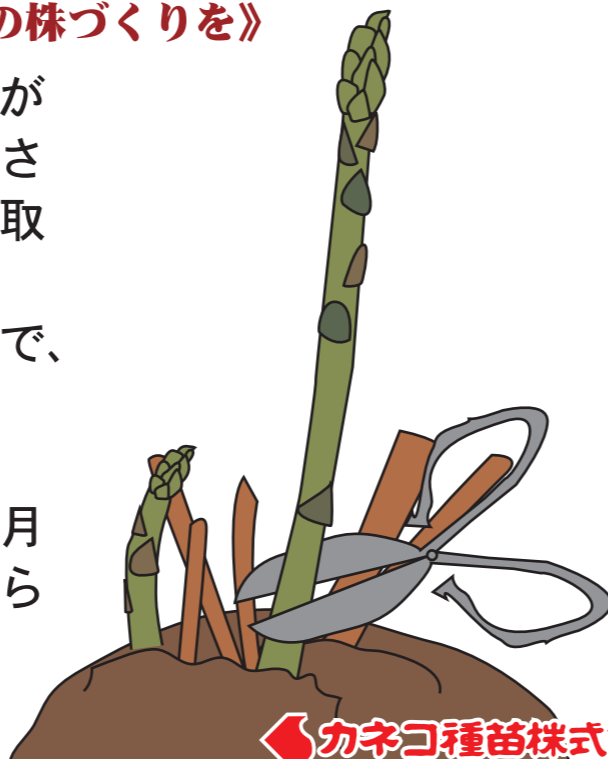


## 3 収穫

ポイント

《7月以降は翌年の株づくりを》

- ⑥冬には地上部が枯れ、春になると新芽が伸びてきます。4月中旬以降、茎の長さが20cm程度になったら、地際から切り取って収穫します。  
採り遅れるとすぐに伸びて硬くなるので、やわらかいうちに収穫しましょう。
- ⑦次々と新芽が出てきますが、収穫は6月までにして7月以降はそのまま葉を茂らせ、次の年の株づくりをします。



### 一口メモ

- アスパラガスは、一度植え付ければ何年も楽しめる野菜です。
- 葉とされている部分は、茎で擬葉といいます。実際の葉は三角形の鱗片葉。アスパラギン酸を多く含み、ビタミンB・ルチンも豊富です。

